



特集

この職業の素晴らしさ
楽しさを伝えたい!!



Info Heisei Iryo Gakuen

春とは名ばかりの厳しい寒さが続いていますが、卒業生の皆さまにおかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。
学校では、3年生が国家試験に向けての追い込みでピリピリした雰囲気となっております。

さて、平成医療学園専門学校では今年4月の新入生から、◎午前授業を行う「昼間I部」の設置や、◎3年間で最高84万円が免除となる夜間部特別奨学金制度の導入など、社会変化に対応すべく新しい制度を設けております。

皆さまのご家族や後輩、お知り合いなど、柔道整復師・鍼灸師を目指している方がいらっしゃいましたら、是非本校をご紹介ください。よろしくお願いたします。

本年も平成医療学園専門学校をよろしくお願いたします。



柔道整復師・鍼灸師の資格取得
平成医療学園専門学校
TEL:0120-1049-91 URL:<http://www.heisei-iryo-gakuen.ac.jp/>
〒531-0071 大阪府大阪市北区中津6-10-15

編集後記

今年はすさまじいばかりの厳冬となりましたが、皆様方にはいかがお過ごしでしょうか。去る1月9日(祝日)に、「成人の日」を迎えた若者は全国で122万人。わが大阪本校、横浜校、福島校そして宝塚医療大学にも、該当者が沢山在籍していますが、新成人の人口は総務省の推計によると1995年から年々、減り続け、ピークだった大阪万博の年1970年の半数を初めて下回った由。これまたすさまじいばかりの少子化への流れです。今後、少ない現役人口で急増する一方の高齢者を支えなければなりません。若年層の失業率は他の世代に比べて高く、若者を取り巻く状況は大変厳しいものがあります。今年はエネルギー政策、税と社会保障の一体改革、TPP参加問題、沖縄普天間飛行場の移設問題など、いやでも難問に直面する年。内外で一段の改革を推進断行し、閉塞感を打開することが要求されましよう。折から先の辰年に設立開校した本校は今年、一巡して新しい辰年を迎えました。お互い力を合わせて昇竜の勢いを加速させたいものであります。

久米 建寿

第10回 平成医療学園専門学校 スポーツ大会について

平成23年10月29日にJグリーン堺にて**スポーツ大会**を実施いたしました。当日は多くの学生の参加を期待し、土曜日の午後からの開催となり、天候にも恵まれたスポーツ大会となりました。

競技内容としては、柔道整復師科、鍼灸師科、東洋療法教員養成科、教職員での全16チーム、クラス対抗のトーナメント方式による、ドッチボール大会を行いました。学生委員による会場準備、開会式での選手宣誓、準備体操等、学生が主体の開催となりました。

1回戦、2回戦、3回戦と各チーム戦い、決勝戦は柔道整復師科1年1組と柔道整復師科1年2組の1年生対決となりました。

お互い決勝戦まで進んでいるチームですので、競技レベルも非常に高く、全学科の学生がコート周りを囲み観戦していました。



両チームとも、決勝まで来たので優勝したいとの気持ちが全面に表れていました。負けたくない気持ちがお互い強い為、試合自体簡単に決着はつかず延長戦までもつれ込みました。

延長戦は時間の都合もあり、先に2名相手選手を当てた方が勝利というルールでした。再び延長戦が始まり初めに1組の選手が1人当てられそのまま試合が決まるのかと思われた瞬間2組の選手が当てられお互いあと1人当てたら優勝という状況になりました。しばらくの間ラリーが続ぎ、1組の選手が当てられ2組が優勝となりました。

普段は交流する機会がない他学科、他学年との白熱した試合や、試合後お互いを称賛する学生達の姿は、見ているこちらとしても感動するものでした。

来年度も素晴らしいスポーツ大会となるよう、教職員同努力したいと考えています。

平成医療学園専門学校 宮城健太郎



患側
炎症所見

経過

2週間を経過しても炎症が引いていないため、初診時は超音波治療を行い、膝関節軽度屈曲位で柔整パットを膝関節内側に当て、巻軸包帯での圧迫固定を行う。また、自宅では荷重をかけるような動作を極力控えるように指導。

- 受診2日目 歩行時痛、屈曲時痛は残存するも、熱感・腫脹・安静時痛は軽減する。
- 受診3日目 炎症所見が完全に引いたのを確認したため、徐々に関節運動を始める。損傷部位、膝関節の構造から、膝関節屈曲を下腿を内旋した状態で行うと、痛みが軽減したのを確認したため、筋の緩和を目的とした可能な限りの膝関節屈曲位から伸展の方向への相反運動を10回ほど行う。その後、前回同様超音波、包帯固定を行う。

以降、毎日の来院を続け、受診8日目には膝関節の最終屈曲ができるまで回復したが、正座をした際の痛み、ひっかかりが残存。この処置として、「半腱様筋半膜様筋」にアプローチを加えると正座時の痛みが消失。

考察

- ・ 受傷時の安静固定がしっかりとされておらず、普段の予後指導もされていなかった。
- ・ 熱感が2週間経過しても消失せずに、無理やり足を引きずって歩く日が続いた。
- ・ 二次的な障害として、膝関節屈曲時の「ころがり運動」「下腿の外旋」を制限させている「半腱様筋半膜様筋」にアプローチを加えることで、正座時の痛みが消失。

症例あ

経過

痛みが発生した当日に跛行気味で来院され、触診したところ、臀部から大腿部外側及び後面の筋緊張を著名に認め、圧痛を訴える。

また、股関節の柔軟性も低下しており、普段からの柔軟体操の不足があったとみられる。足関節内反位での膝関節屈曲をしていくと、70程で膝関節外側から腓骨頭周辺に痛みを訴える。(足関節外反位での膝関節屈曲では、120まで可能)

患部を上にした側臥位で、大腿筋膜張筋に揉捏法、軽擦法でアプローチを加え、さらに伏臥位にて、ハムストリングスにも同様の手技を行い、坐骨結節周辺に単刺を行なった。手技後、足関節内反位での膝関節屈曲を行なったところ、100→110程まで可能になり、痛みの軽減がみられた。

受診2日目 歩行時痛は残存するが、前回よりも痛みが出現する時間が延び、10分→20分程度まで可能になる。また、階段を下りる時の痛みは残存するも、膝関節屈曲時痛は消失しており、痛みの程度も軽減。柔軟性を広げるために股関節のストレッチを入念に行い、下腿軸が外旋していたため、歩行時のフォーム指導を行う。

継続治療を行い、4日目にして多少の長時間歩行時痛は残存するも、ほとんど痛みが気にならない程度まで改善。

考察

- ・ 普段からの柔軟性の不足が見られた。
- ・ 下腿軸が外旋していたことから、常に下肢外側にストレスがかかっていたと考えられる。
- ・ 後部加重の姿勢やランニングフォームのため、大腿部後面の筋緊張を招いた。

大阪マラソン ボランティアに参加して

10月30日(日)に第1回大阪マラソンが開催されたのは皆さんご存じだと思いますが、全柔協が医療ボランティアスタッフとして参加するということで、貞友会も医療スタッフとして参加させていただきました。内容はマラソンに参加されたランナーに対して、ゴール後の「マッサージ、ストレッチ、テーピング」などのサポートです。

マラソンスタートの午前9時に、スタッフはゴール地点であるインテックス大阪に集合でしたが、すでに何名かのボランティア参加者は会場に入っていました。

ベッドが20台とサポートに必要な備品をセッティングが終わった後、選手達がゴールするまでの時間を使って、村上先生によるテーピング講座が開催されました。

10時30分には、車いすランナーがゴールし、11時10分頃には1位のエリジャ・サング選手がゴールしました。ボランティアスタッフはサポートに備え早めの昼食を取り、選手のゴールを待ちました。



スタートしてから3時間後の12時過ぎから選手が続々とゴールし始めました。時間が経つにつれ、足が棒のようになって歩きながらくる人、腰や肩に痛みがある人、靴擦れした人など次々と選手達が私たちのブースにやってきました。20台のベッドでは足りなくなり、急ぎよ地面に毛布を引き、選手達のサポートをしました。それでも50人以上の方が待つという時間帯もありました。休みなく選手にサポートしている中、貞友会メンバーでマラソンに参加した人がゴール後全柔協のブースに寄ってくれた時には、スタッフが拍手で迎えるといったシーンもありました。

時間に限りがあり、午後5時には終了しなければならず、サポートできなかった選手もいたことが心残りでしたが、「すごく楽しかった」「丁寧にしてくださったありがとう」といって参加者からの声も多数いただきました。

来年も機会があれば、皆さんもぜひ参加してください。

平成医療学園専門学校 齋木基

01

SYOREI

膝関節

内側側副靭帯損傷について

平成医療学園附属鍼灸接骨院 院長 重田 直登

内側側副靭帯は、大腿骨の内側上顆から起り、内側半月の内側面、脛骨の内側顆に付着し、膝関節の内側部を補強する。

内側側副靭帯の損傷は、下腿が外旋し、大腿が内旋した状態で膝関節に外転力が加わって発生する。

膝関節側副靭帯損傷では、内側側副靭帯の方が外側側副靭帯より、人体構造の関係と働きから頻度が高く、単独よりも他の損傷を合併することが多いが、今回は内側側副靭帯単独損傷の症例を紹介する。

症例

26歳 男性 専門学生

2週間前に柔道の乱取りで相手に背負い投げをされ、受身に失敗し右膝を強打した際、膝に強い外転力加わり負傷。その日に整形外科を受診し、MRIを撮ったところ、「内側側副靭帯の単独損傷」と診断を受ける。

安静指導のみを受け、これといった処置をされずに経過観察とされたが、痛みが引かず運動制限も著名なため、来院。

熱感(+)腫脹(+)発赤(+)安静時痛(+)荷重痛(+)歩行時痛(+)膝関節屈曲.50で制限.痛みを認め、足を引きずつての来院。

エコー画像診断を行い、炎症所見を確認。



健側

れこれ

02

SYOREI

ランナー膝について

平成医療学園附属鍼灸接骨院 院長 重田 直登

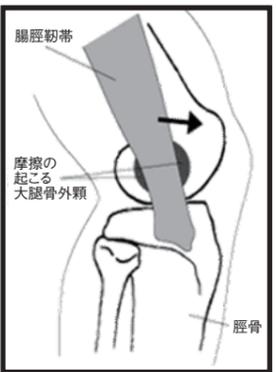


図 腸脛靭帯炎

ランナー膝とは、ランニングによって生じる膝関節痛の総称で、様々な病態が含まれる。今回は腸脛靭帯が膝部外側で摩擦し、疼痛が発生する「腸脛靭帯炎」について紹介する。

腸脛靭帯炎は、ランニングによる膝障害の代表で、膝関節の屈伸運動を繰り返すことにより、腸脛靭帯が大腿骨外顆と接触し、炎症疼痛が発生する。

主因

オーバーユース。

過剰なランニング時間と距離、柔軟性の不足、休養不足、硬い路面や下り坂、硬いシューズ、内反膝など、様々な要因が加味される。

症例

32歳 男性 会社員

2年前からランニングを始め、週に2回、5km程のランニングを続けていた。

1週間前にマラソン大会に参加し、10kmを走り終えたその2日後、朝起きようとして足を着いた際に、左膝外側に激痛を感じる。短距離の歩行では痛みはでないが、2〜3分も歩くと疼痛が出現し、跛行気味になる。

熱感(+)腫脹(+)安静時痛(+)歩行時痛(+)Grasping test(+)

患者様がどんどん増える！

なぜ？

平成医療学園専門学校が開校しはや12年。附属治療院が現在の場所に開院し5年。そして、その治療院長に昨年半ばに就任したのが、なんと柔整科5期生で鍼灸科8期生の重田直登先生です。超ポジティブ人間の彼は教育機関としての色が強かった治療院を、患者様第一主義の治療院として生まれ変わらせるためにやってきました。

それまでの月の来院患者数が柔整鍼灸合わせ2000人未満であったのが、就任した23年10月では424人、11月は516人、12月は施術日数が通常月に比べ少ないものの489人という結果に！ではなぜこのような来院数増加という結果に至ったのか、重田院長にインタビューしてみました。



一人ひとりに丁寧に診察を重ねていく。

Q 卒業してから附属院へ戻ってきた理由を教えてください。

A それは色々な先生方から治療を学びたいと思ったからです。開業をしている先生方から伺える話もたくさんあります。僕は去年の10月から附属院に勤務しているのですが、ここへ来る事になったのも、患者さんのことで貞友会の1先生に質問に行った際に、この院の事を聞き、誘っていただいたからなんです。

Q 戻ってきて感じた事はなにかありますか？

A 患者さんといつも真剣に向き合い、治療されている先生は、今整骨院がどんどん増えている中でも変わらずに人氣が高いということを再確認できました。技術はもちろん、それ以外の事もたくさん

さん教えてもらっています。可能性がどんどん広がっています。

Q 患者様がこのところ増えていますか？

A 患者さんとの信頼関係を築くことを意識して治療に入っています。それは治療技術だけではなく、何気ない会話や説明でも、二人ひとりに合ったやり方を心がけています。

Q 患者増加のために何をしましたか？

A 僕自身、それほど大きく変えたという意識はないんです。あるとすれば、「患者様第一主義」という理念を掲げて皆の方向性を決めたということぐらいです。

副会長 松本のちよつと一言

マシントレーニング



「練習、マッサージ→自宅へ送る」一見これの繰り返しのように思いますが、そこにはケアマネージャーと施設側で利用者の自立へ向けた日々の努力が重要であると痛感いたしました。さらに名称にサービスと入ることからわかるように、介護サービスを提供することから、接骨院や鍼灸院とは少し違った雰囲気でもありました。貞友会では今後も介護の分野の勉強会も行っていく予定ですが、百聞は一見にしかず、一度こちらへ見学、もしくは実際に勤務してみるのも良いのではないのでしょうか？

転倒予防運動・歩行訓練

「利用者の方へお迎え→機能訓練」

柔道整復師は接骨院を開業する、もしくは勤務する、という選択肢の他にデイサービスを開業するというケースが増えてきています。貞友会でも以前講師をお招きし、介護保険やデイサービスについての勉強会を行ったことは記憶に新しいと思います。そこで今回は柔整師ができるデイサービスとは、ということに柔整師鍼灸師の先生が経営するデイサービスへ訪問してみました。デイサービスというと食事や入浴の介助やサービスを連想しがちですが、ここは機能訓練に特化したところです。



コンディショニング

必要資格

- ★生活相談員
社会福祉主事、社会福祉士、精神保健福祉士、又はこれらと同等の能力を有する者
- ★機能訓練指導員
理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、看護師、准看護師、柔道整復師、按摩マッサージ指圧師

お迎え



健康チェック

リハビス呉服
〒563-0047 大阪府池田市室町7-3
TEL. 072-752-8133



準備体操

利用時間	月	火	水	木	金	土	日	祝
午前 9:00 ~ 12:30	●	●	●	●	●	—	—	●
午後 13:00 ~ 16:30	●	●	●	●	●	—	—	●

お送り

【定休】土曜・日曜

～古の技術を伝承し、
治癒力を引き出す～

～疾患を、治癒に導く～

～西洋医学と東洋医学を
併せ持つ～

Naoto Shigeta
重田 直登

柔整科5期生で鍼灸科8期生として平成医療学園を卒業

その後、北摂地域の治療院で勤務、経験をし、平成23年10月より「平成医療学園附属鍼灸接骨院」にて院長を勤める。

「温故知新」「一期一会」をモットーに日々患者様との出会いを大切に、治療に励んでいる。



シリーズ 施術者にできること(1) 筋膜療法



私は、父親が保健所奉職後の道を手技療法(カイロプラクティックを経て指圧)に求めた影響を受け、三十代に施術者になる決心をしました。子供がいたので家では勉強ができず、勉強の場は通勤・通学の電車になりましたが、「暗記」よりも「思考」する勉強法が功を奏し、免許の取得とともに思いもしなかった後輩の施術者養成の道をいただき、午前中は当初の目的の臨床に励みました。

幸運にも、外来で解剖学を担当されていた大学教授のご尽力で、解剖学講座の正式な研究生(1976年~1984年)として人体に触れる機会を賜り、系統、器官の観察のために取り除く、筋膜などの《膜》構造 Fascia と皮下組織の結合組織のポリウムと存在感が関心事になりました。学問的には細胞成分が少なく接着や緩衝などの受動的な存在になつていますが、その「密に神経終末が分布する」二連の Fascia に独自の構造認識が芽ばえ、施術の対象になりました。

「揉む・擦る・圧す」があげられている手技とは異なり、皮下の Fascia に、体表から手掌や母指腹を密着してひっかけ、それをずらして約1分半持続する独自の手法「ずり圧」に行き着き、筋膜療法(Fascia - therapy)の基本手技になりました。Fascia に「ずり圧」による他動的なストレッチング(筋膜ストレッチ)をして可動域を広げ、他動運動をして、肢体を伸展する施術は、患者自身の日常的な姿勢などの改善の努力が不可欠ですが、体を緩めて縮まった大変



Toshio Yoshioka

兵庫県西宮市生まれ
甲南大学理学部卒業
昭和49年~平成12年
私立あま指、鍼灸、柔整師養成専門学校教員

昭和51年~昭和59年
国立大学解剖学教室研究生
昭和56年~昭和58年
私立短期大学講師

平成5年~平成12年
私立あま指、鍼灸、教員養成課程教員
現職 アルタ治療院院長、平成医療学園専門学校専任教員

筋膜療法/Fa・ther創始
日本解剖学会、コメディカル形態機能学会、全日本鍼灸学会 所属

『目で見る動きの解剖学(新装版)』(大修館書店) 解剖学担当監修 1999年

『“変形/痛み”の治療革命!筋膜療法/Fa・ther』(たにぐち書店) 2001年

『Fa・ther/筋膜療法異次元“体のゆがみ”の治療法』(たにぐち書店) 2006年

な、体のゆがみや「筋骨格系の痛み」の治療が実現しました。

原因が解らない「筋骨格系の痛み」や肩凝り・五十肩、膝の痛み、85%が不明とする腰痛、脊柱側弯症やムズムズ脚症候群などの難病に対して、医療の「僧帽筋の緊張」や「関節周囲の炎症」、「歳をとると軟骨がすり減り、骨と骨がぶつかって痛みが発症」などの定説は曖昧で、体や系統、器官を支持する Fascia の欠落した見識の欠陥に気づきました。解剖学の個体の生命活動や種の保存に必要な機能をする、系統、器官だけの見識では、生存できません。

解剖学は膨大な内容から本質に行き着けず、総論の「生命活動に不可欠な系統、器官」の機能が、有機的に統合されて生命を維持する」の有機的に統合する構造、機能の説明がなく、また、骨学の前文の「骨が集まって骨格をつくり、身体を支持する」は、可動する「骨の連結」の構造だけでは体の基本的な形や骨の位置づけ、身体の支持ができず、既知ではなかったのです。基本的な形のないフィクチャの骨格は、筋の作用で動かし支えることはできません。

医学、医療が社会にもたらした貢献は

これから通えばどうなっていくのかなど、なるべく患者さんに伝わるようにわかりやすく説明することも心がけています。

Q 他の院との違いは何ですか?

A 一番大きいのは、わからないことがあつた時にすぐ近くに経験豊富な先生方がたくさんいるということだと思います。様々な視点から症状を見る事ができ、新しい気づきもあり、毎日勉強になります。

また、技術だけではなく、会話だけで症状が楽になる時もあり、コミュニケーションの大切さというのも学びました。ですから、一人ひとりにピッタリ合った治療ができます。その人その人にピッタリ合った治療をするので色々な方向から治療ができるんです。

Q 今後の目標は?

A まず、理念にも掲げたように、地域で一番信頼され、必要とされる治療院にしていきたいです。うちの治療院に来て元気になった、〇〇ができるようになったと言ってくれる人がどんどん増えていったら最高ですね。あとは、ここは専門学校附属の治療院なので、柔道整復師や、鍼灸師になるために毎日頑張つて勉強している学生さん達に、この職業の素晴らしさ、楽しさを一人でも多く伝えられたらいいですね。そのためにも、僕も日々勉強です。



平成医療学園専門学校
附属鍼灸接骨院

TEL 06-6454-2228

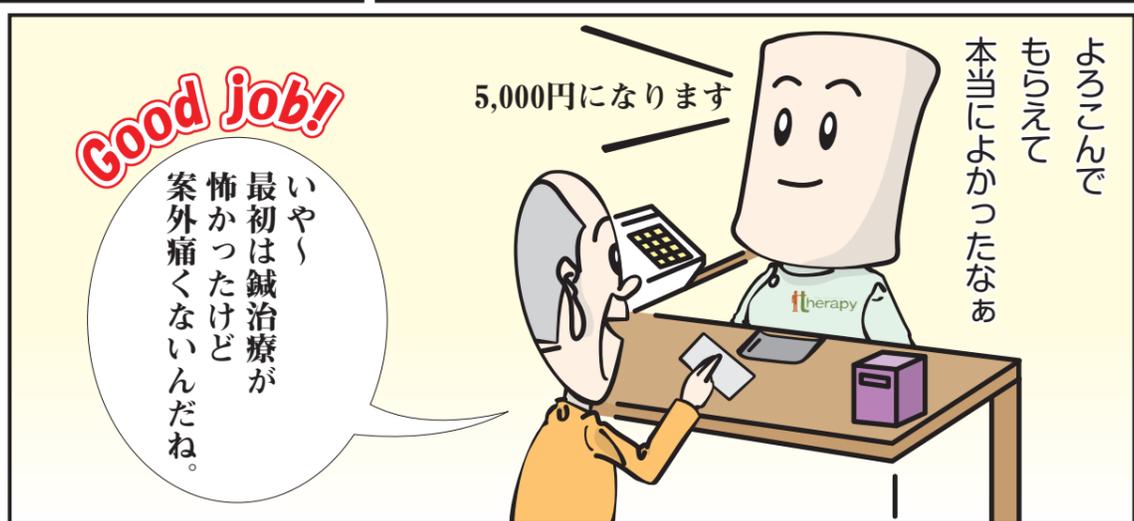
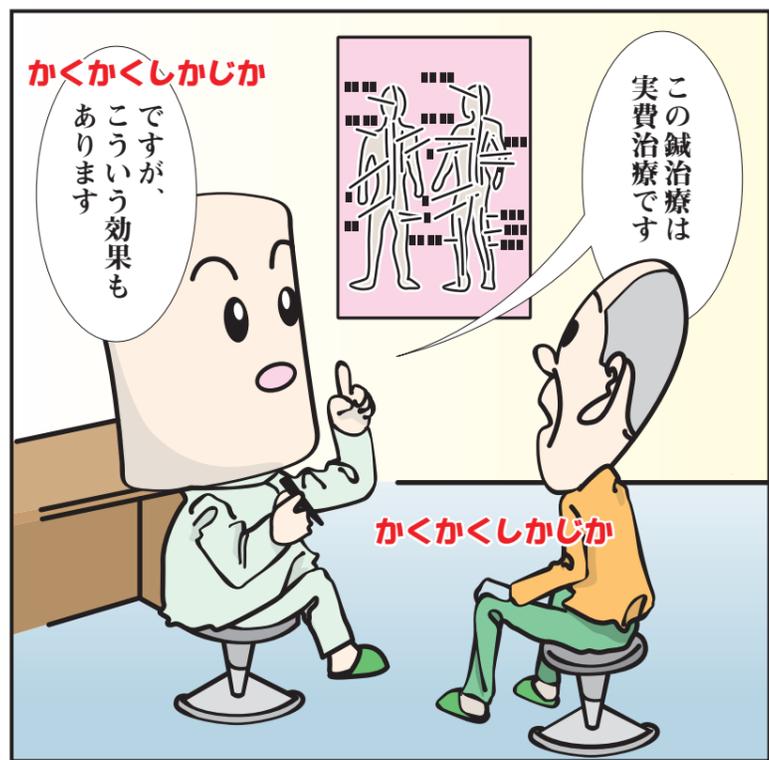
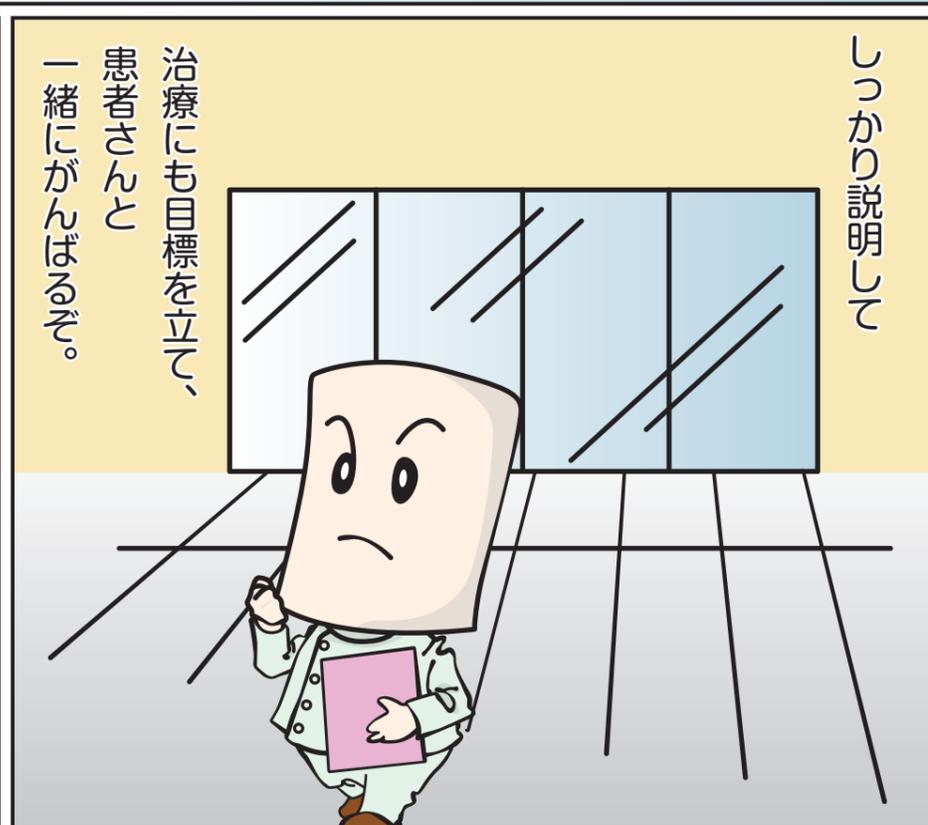
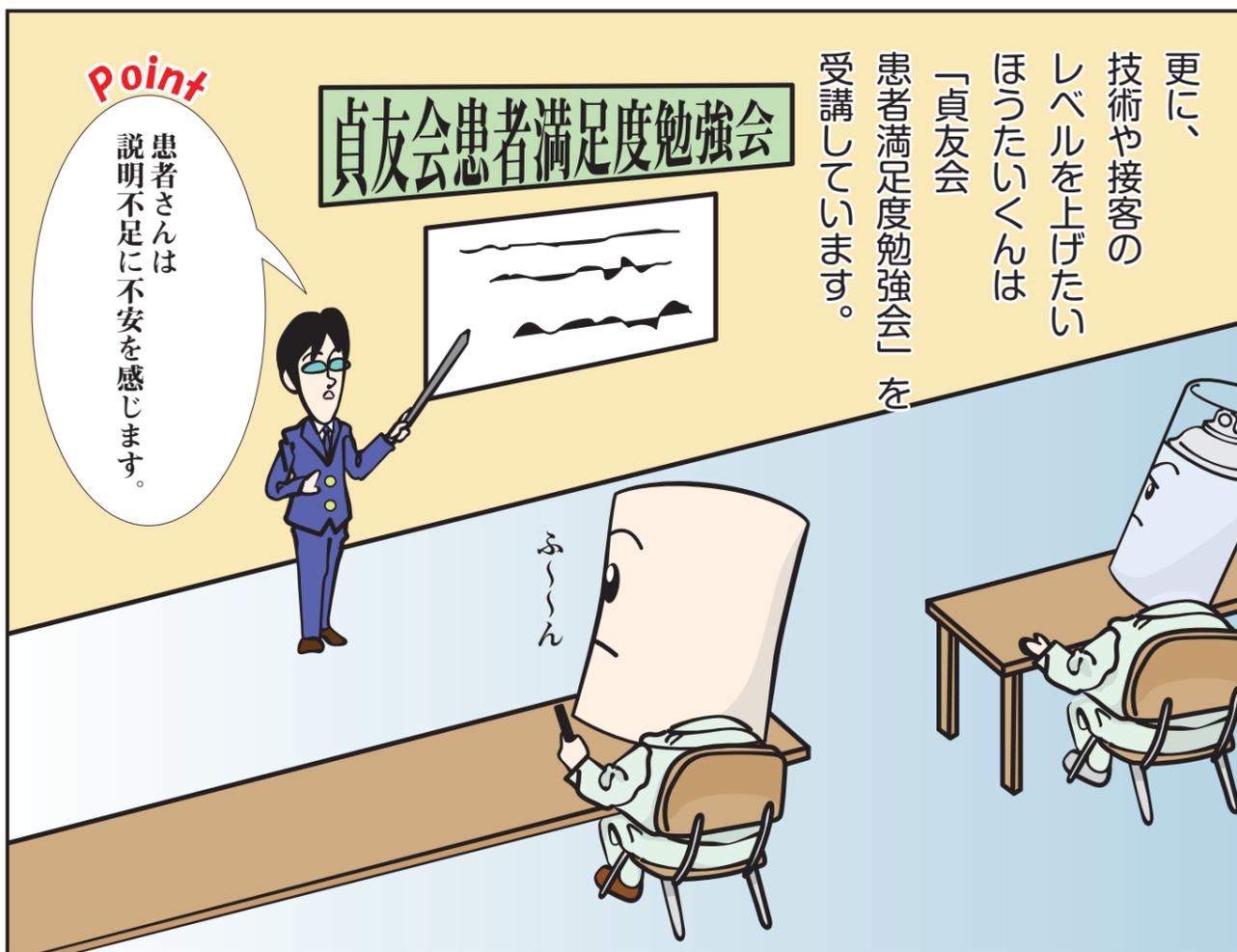
受付時間 AM9:00~PM8:00

月	火	水
○	○	○
木	金	土
○	○	△

土曜午後(PM3:00まで)日曜・祝日はお休みです。

実費治療で治さずこの巻

協力セラピ株式会社



激安! (税抜)
特価 **1,320円**

貞友会会員限定

貞友会からキネシオロジーテープを買ったなんと5cm×6本(箱1320円(税抜))で買えちゃうよ！鍼灸用品も激安です！詳しくは副会長松本のお悩み相談コーナーからご連絡下さい。詳しくは新しいホームページのトップページのバナーからお入り下さい。

www.teiyukai.jp